

アンケート結果

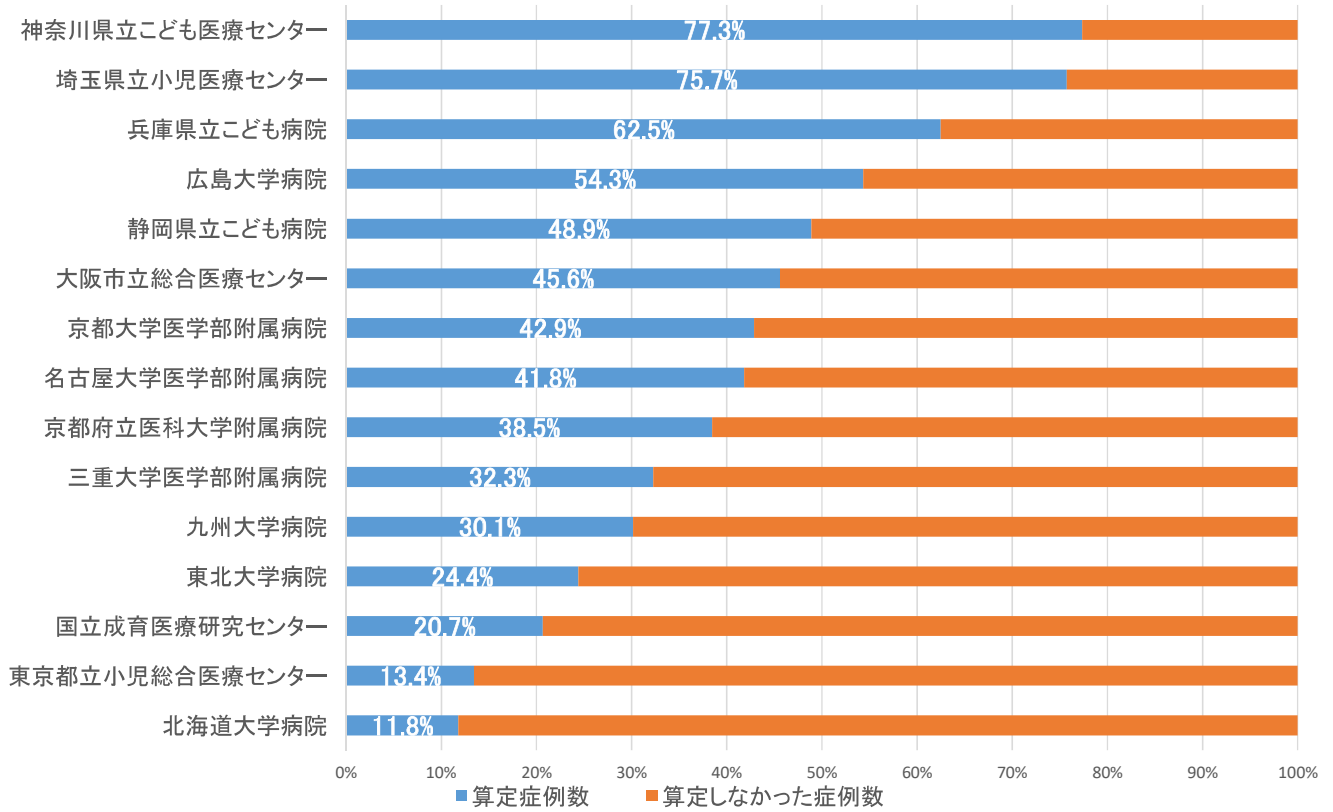
2024.7.9

第20回小児がん拠点病院連絡協議会

問1.

小児がん患者の紹介実績について

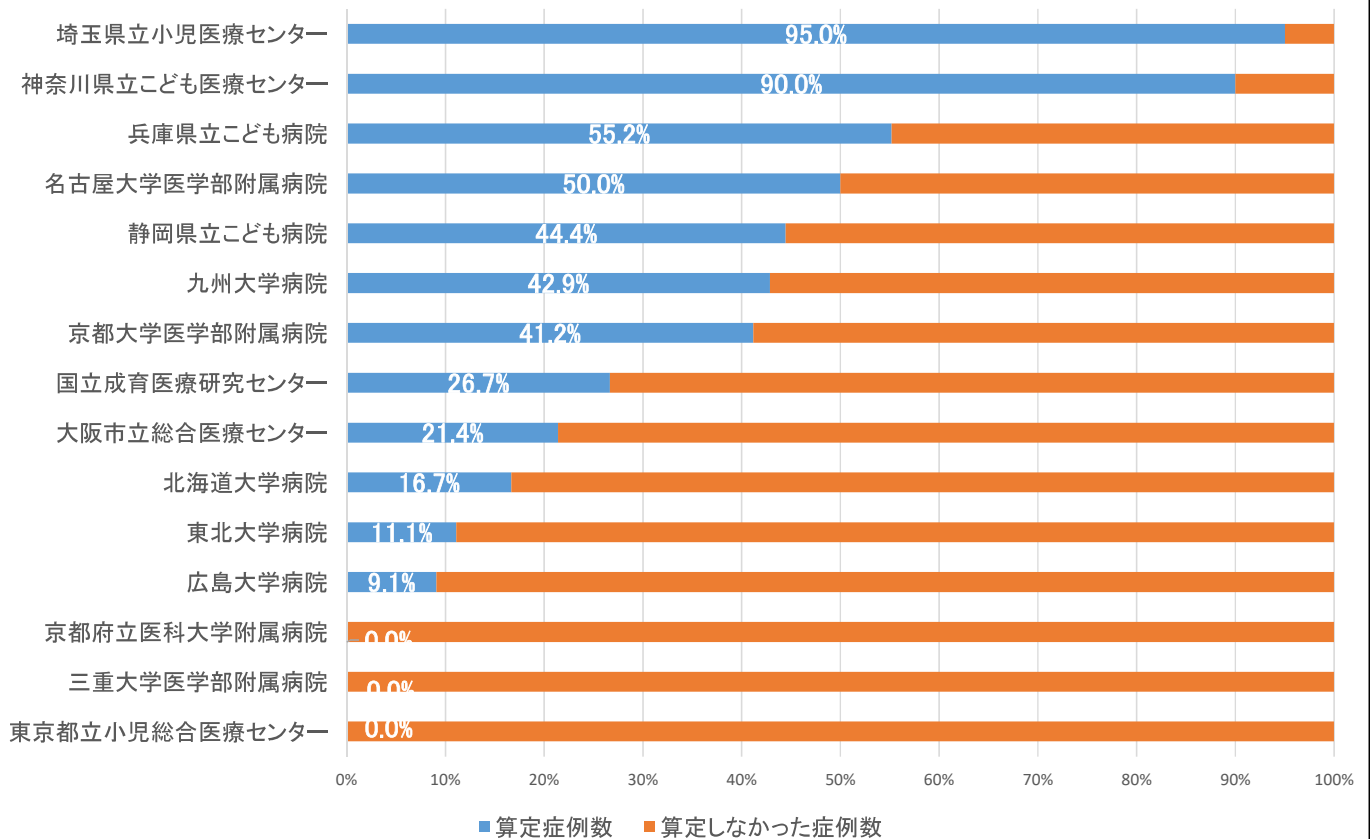
1) 初発小児がん患者数と小児がん拠点病院加算を算定した症例数



1) 初発小児がん患者数と小児がん拠点病院加算を算定した症例数

施設名	1)【初発例数】 実数	2)【初発例数】 1)の内、小児がん拠点病院加算を算定した症例数	紹介数合計 3)~7)	3)【初発例数】 1)の内、ブロック内の小児がん拠点病院からの紹介数(実数)	4)【初発例数】 1)の内、ブロック内の小児がん連携病院からの紹介数(実数)	5)【初発例数】 1)の内、ブロック外の小児がん拠点病院からの紹介数(実数)	6)【初発例数】 1)の内、ブロック外の小児がん連携病院からの紹介数(実数)	7)【初発例数】 1)の内、その他の施設からの紹介数
1 北海道大学病院	34	4	34	0	6	0	1	27
2 東北大学病院	41	10	40	0	5	0	0	35
3 東京都立小児総合医療センター	67	9	50	3	9	1	0	37
4 埼玉県立小児医療センター	103	78	99	1	8	1	1	88
5 神奈川県立こども医療センター	75	58	81	0	6	0	3	72
6 国立成育医療研究センター	92	19	88	5	20	1	0	62
7 名古屋大学医学部附属病院	55	23	52	0	14	0	0	38
8 三重大学医学部附属病院	31	10	28	0	3	2	0	23
9 静岡県立こども病院	45	22	45	0	1	0	1	43
10 京都府立医科大学附属病院	39	15	35	1	6	0	0	28
11 京都大学医学部附属病院	35	15	35	2	12	2	2	17
12 大阪市立総合医療センター	68	31	46	1	6	0	0	39
13 兵庫県立こども病院	96	60	96	1	29	2	18	46
14 広島大学病院	46	25	44	0	3	0	0	41
15 九州大学病院	73	22	72	0	22	2	0	48
合計	900	401	845	14	150	11	26	644

2) 再発・難治例数と小児がん拠点病院加算した数



2) 再発・難治例数と小児がん拠点病院加算した数

施設名	1)【再発・難治例数】実数	2)【再発・難治例数】1)の内、小児がん拠点病院加算を算定した数	紹介数合計 (3)~7)	3)【再発・難治例数】1)の内、ブロック内の小児がん拠点病院からの紹介数 (実数)	4)【再発・難治例数】1)の内、ブロック内の小児がん連携病院からの紹介数 (実数)	5)【再発・難治例数】1)の内、ブロック外の小児がん拠点病院からの紹介数 (実数)	6)【再発・難治例数】1)の内、ブロック外の小児がん連携病院からの紹介数 (実数)	7)【再発・難治例数】1)の内、その他の施設からの紹介数
1 北海道大学病院	6	1	6	0	1	0	3	2
2 東北大学病院	9	1	9	0	5	1	1	2
3 東京都立小児総合医療センター	36	0	4	4	0	0	0	0
4 埼玉県立小児医療センター	20	19	18	0	3	0	0	15
5 神奈川県立こども医療センター	10	9	10	1	2	2	5	0
6 国立成育医療研究センター	15	4	15	5	4	2	2	2
7 名古屋大学医学部附属病院	16	8	8	1	3	2	2	0
8 三重大学医学部附属病院	13	0	3	0	0	2	1	0
9 静岡県立こども病院	9	4	9	0	1	0	1	7
10 京都府立医科大学附属病院	1	0	1	0	0	0	0	1
11 京都大学医学部附属病院	17	7	17	3	6	2	2	4
12 大阪市立総合医療センター	14	3	7	0	4	0	1	2
13 兵庫県立こども病院	29	16	28	1	11	0	2	14
14 広島大学病院	11	1	1	0	1	0	0	0
15 九州大学病院	14	6	14	0	7	2	4	1
合計	220	79	150	15	48	13	24	50

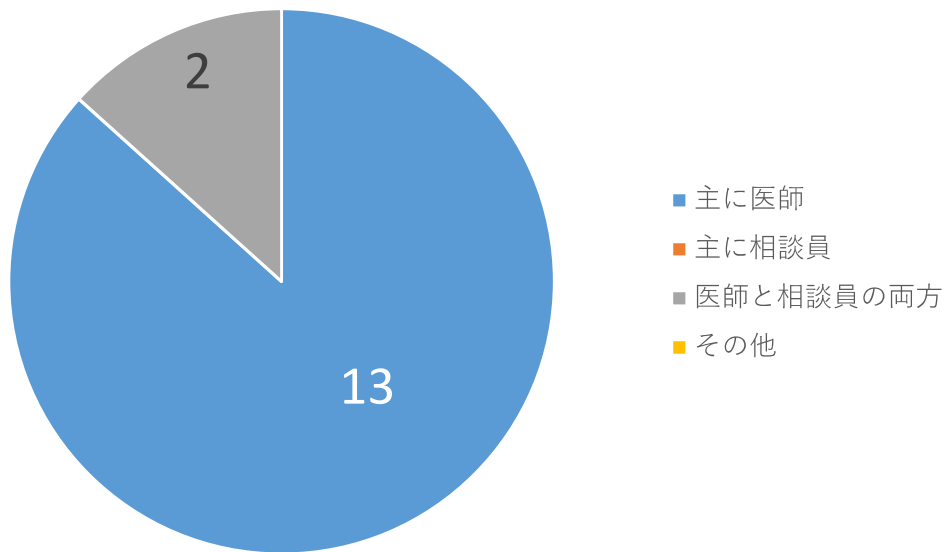
3)小児がん拠点病院加算について、ご意見があれば記載してください

- ・11人の再発のうち、10人が自施設でフォローしていた症例で、1例のみブロック内の連携病院からの紹介であります
- ・意見は特にはないが、当院での算定が非常に少なかったため本加算について院内で周知・検討の必要あり
- ・継続入院加療が必要な患者さんは毎月加算が取れるようにしていただきたい
他院で治療終了した患者さんのフォロー依頼に対して、加算が取れるようにしていただきたい
- ・小児がん連携病院にも加算がつくとよいのではないのでしょうか
- ・当該加算は、小児がん拠点病院を評価したものであり、他施設からの紹介により小児がん拠点病院に入院した際に入院初日に算定(750点)できるものである。しかし、小児がん連携病院には機能強化事業費を充てられておらず、小児がん連携病院を評価した加算も設けられていないのが現状である。今後、小児がん連携病院にも自施設の体制強化のため、このような評価制度があっても良いのではないかと考える
- ・年間、初発・再発を合わせても100例程度の算定(75,000点)となると、あまりメリットがないように感じます
また、院内事情なのだと思いますが、当センターの場合、医師の申告ベースのため、算定数が非常に限定されていると思います。より効率的に算定できるとよいと考えます

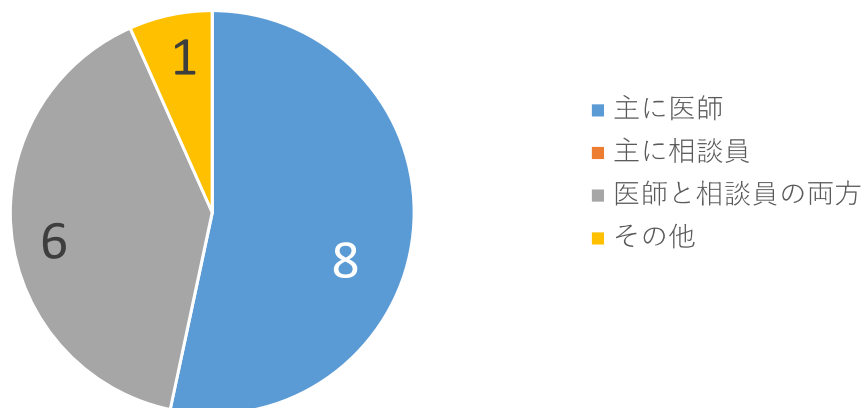
問2.

医師の視点からの小児がん相談支援センターの業務について

1)小児がんの病態、標準的治療法等小児がん診療等に関する一般的な情報の提供)



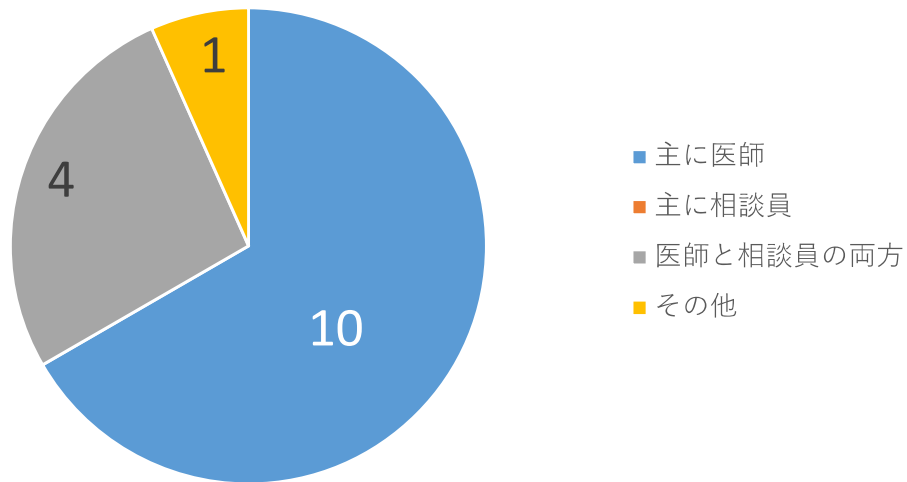
2)領域別の小児がん診療機能、診療実績及び診療従事者の専門とする分野・経歴など、小児がん連携病院等及び診療従事者に関する情報の収集、提供



その他

事務担当者

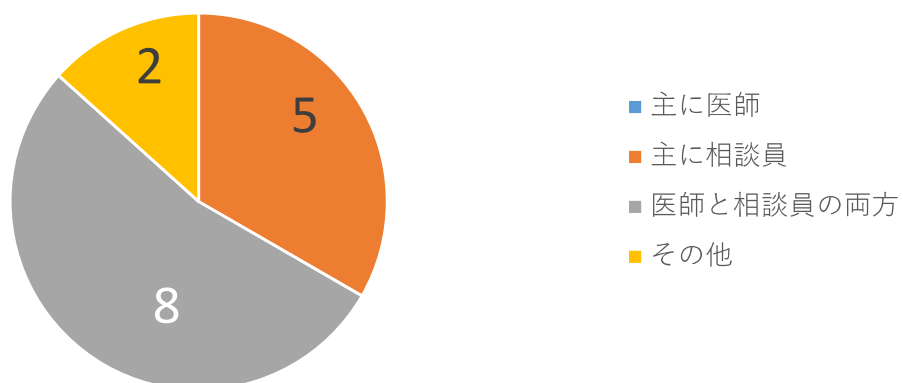
3) セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介



その他

医師と相談員の両方、相談員と医療連携のセカンドオピニオン窓口

4) 小児・AYA世代のがん患者の発育、教育、就学、就労等の療養上の相談及び支援

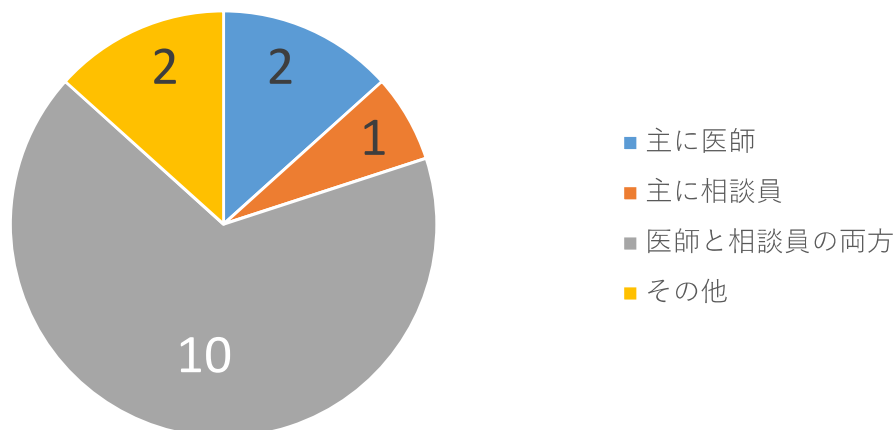


その他

医師と相談員の両方相談員と医療連携のセカンドオピニオン窓口

医師、看護師、特別支援学校の教員、MSW、心理士、CLS

5) がん・生殖医療に関する相談及び支援

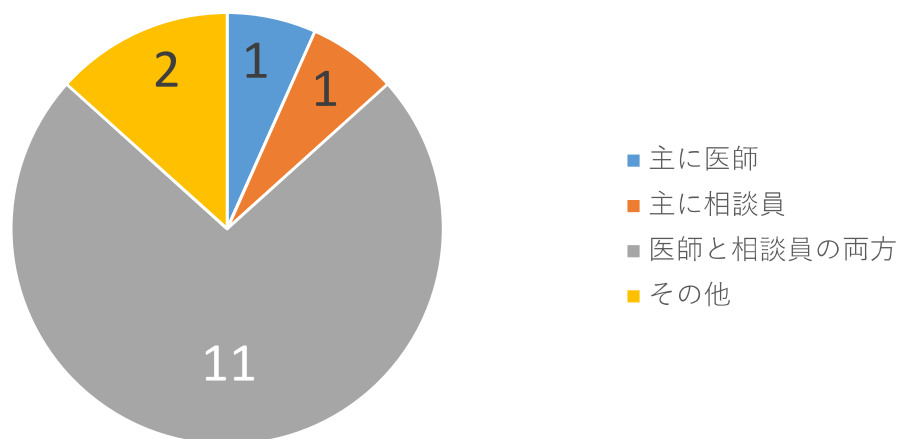


その他

医師、看護師、相談員

高度生殖医療センター(医師、看護師、薬剤師、心理師、相談員、CLS、胚培養士)

6) 長期フォローアップに関する相談及び支援

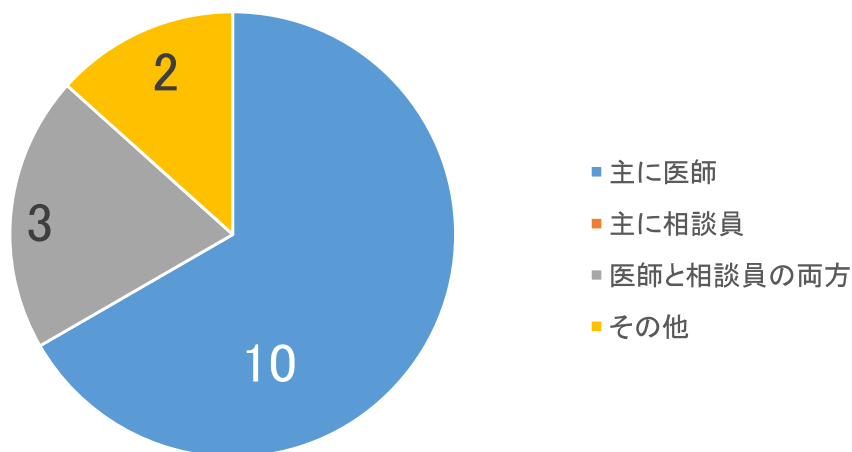


その他

医師、看護師、相談員

長期フォローアップチーム(医師、看護師、薬剤師)

7)がんゲノム医療に関する相談及び支援

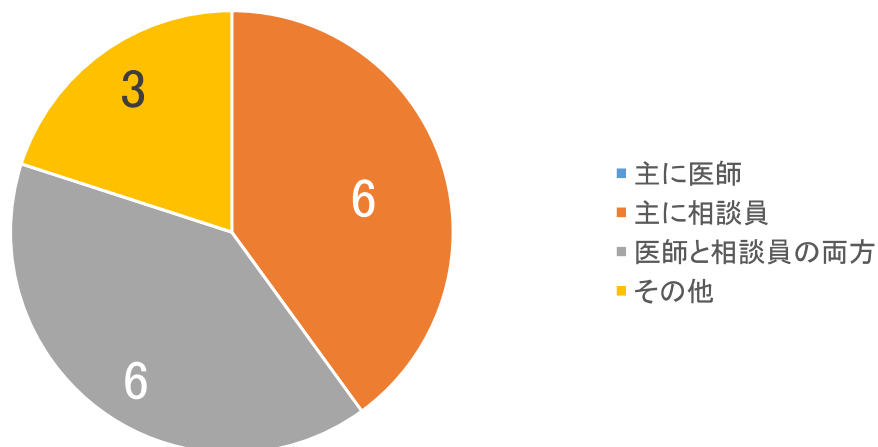


その他

医師、看護師

ゲノム医療部(医師、遺伝カウンセラー、看護師、検査技師、薬剤師)

8)アピアランスケアに関する相談及び支援



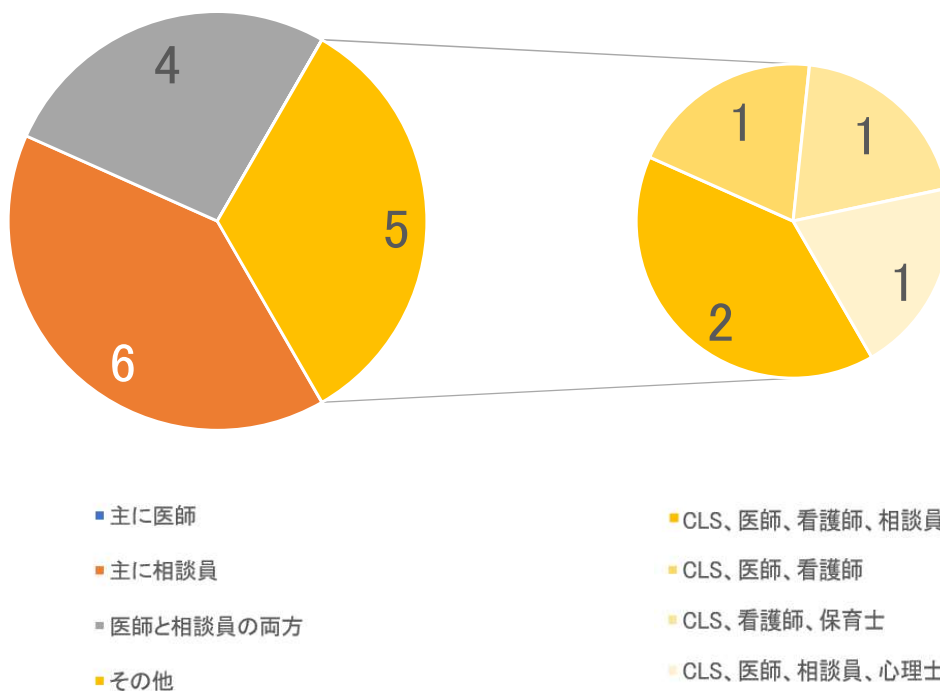
その他

医師、看護師、相談員

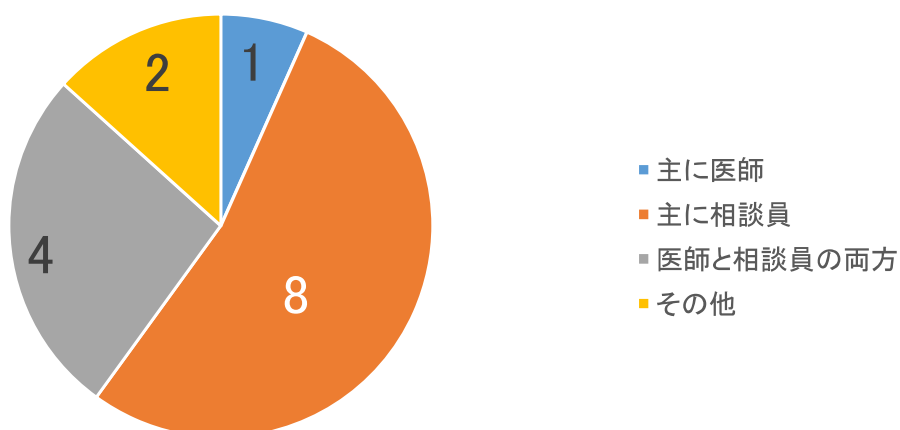
CLS、医師、看護師

アピアランスケア推進チーム(医師、看護師、相談員)

9) 患者のきょうだいを含めその家族に対する支援



10) 医療関係者と患者会等が共同で運営するサポートグループ活動や患者サロンの定期開催等の患者活動に対する支援



その他

CLS、医師、看護師

CLS、看護師、保育士

小児がんの相談支援について求めることがあれば記載してください

- ・きょうだい保育や亡くなった家族支援に診療報酬加算がつくようにお願いしたい
- ・既に行っているかもしれませんが、小児がん相談支援の必要性を訴えるために、新聞などのメディアを通して国民へのアピールを行った方がいいのではないかと考えます
- ・現在利用可能な医療資源に関する、患者用のわかりやすい資料
- ・小児がんサバイバーの就労支援において困難を感じる場合があります。現状の把握と就労への具体的な支援がなにかできないものかと考えております
- ・小児がん連携病院の相談員の充実について、小児がん拠点病院としてどのようなことが可能かを議論したい
- ・自治体毎に対応している造血細胞移植後予防接種費用の助成制度について、全国の状況を知りたい
- ・相談されたことに対応できる社会資源の数の不足、連携不足があるように感じることもある。また研修会は行われるが、相談員自体の不足や、ブロック内の地方では相談員の経験の蓄積が困難であることが課題
- ・相談員の人数が少ない(相談員による相談対応に加算があると良いと思います)
- ・東京都の事業で相談支援のリーフレットを作成していますが、なかなか利用されていないようです。ぜひ活用していただければと思います
- ・現状の内容でよいと思います

問3.

その他、小児がん拠点病院事業についてのご意見がございましたら記載お願いいたします。

・移行医療や長期フォローアップを充実していけるような環境整備

・患者および家族の心理面での支援(相談にとどまらず心理職による専門的な対応)強化が必要。小児がん拠点病院事業で小児がん患者に特化したそのような専門職の雇用が可能かどうか

・症例の(緩やかな)集約化/治療成績の向上のために、小児がん拠点病院の存在をもう少し患者側に伝えられるようにするためにはどうしたら良いか、皆で考えられたらと思います

また、外科的治療、放射線療法の施設の広域連携を、長期的にはブロック内で完結できるような施設整備を国で計画頂ければと思います

・長期フォローアップ外来に相談員が介入した際に加算があると良いと思います

・臨床試験の遂行や、医療者の実地研修が行えるような資金が欲しい

ご協力いただき、ありがとうございました。

